

難病患者の生をどのように伝えるか？ — 「ライフ」の記述をめぐる方法論の可能性

日本質的心理学会第7回大会 会員企画シンポジウム [8]

日 時：2010年11月28日（日） 13：15～15：15

会 場：茨城大学水戸キャンパス 人文学部講義棟 24番教室

プログラム：

企画者：日高 友郎（日本学術振興会特別研究員（立命館大学大学院文学研究科））	
全体司会：水月 昭道（立命館大学衣笠総合研究機構） ¹⁾	
話題提供 1	日高 友郎 （日本学術振興会特別研究員（立命館大学大学院文学研究科））
話題提供 2	安達 俊祐 （立命館大学大学院応用人間科学研究科）
話題提供 3	牛久保 結紀 （日本ALS協会群馬県支部）
話題提供 4	安田 智美 （日本ALS協会福島県支部）
指定討論・ 総括	児島 達美 （長崎純心大学人文学部）

1) 現 学校法人筑紫女学園法人本部職員